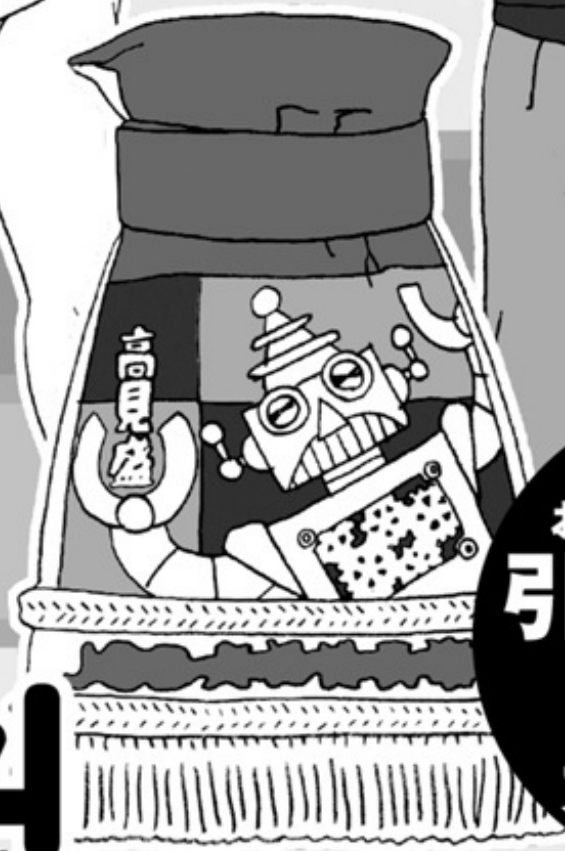
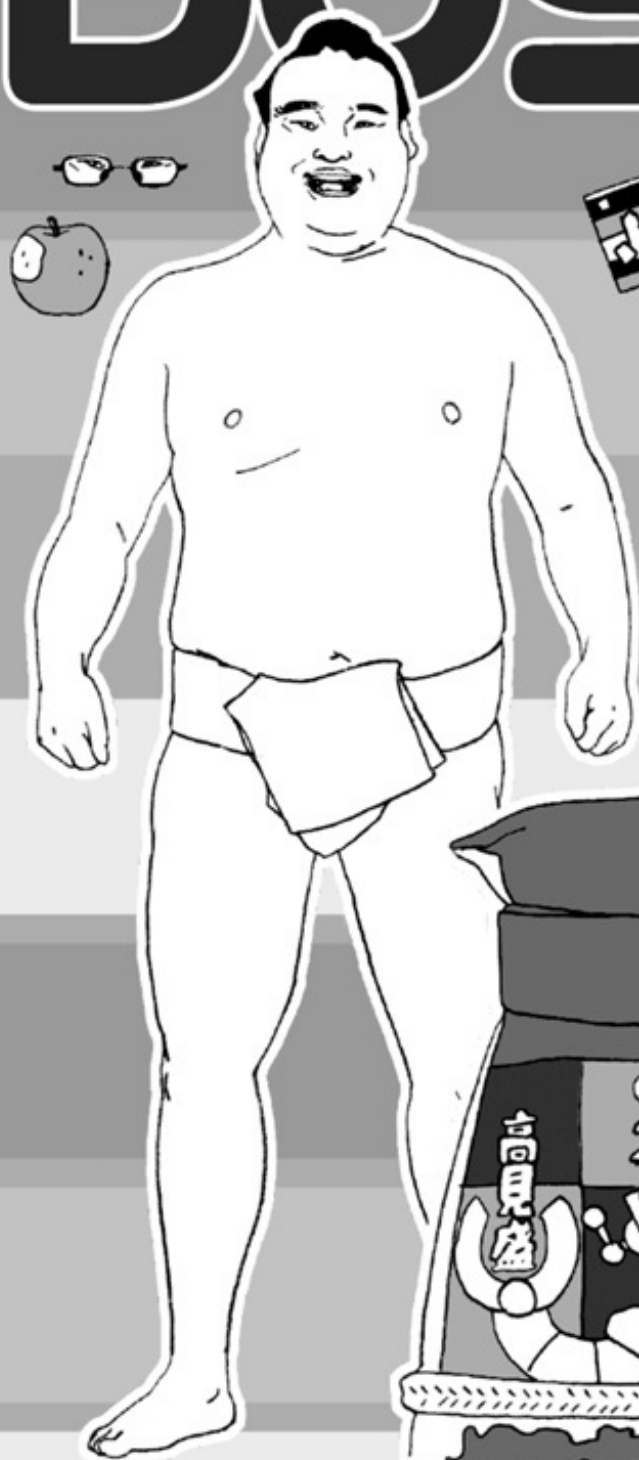


さよなら高見盛関！こんにちは振分親方！

DOS-KOI

magazine



VOL.4

特集
お疲れさまでした
引退断髪式
いざ
九州場所!

さよなら高見盛(のちよんまげ)

相撲を知らなくても、「たかみさかり」と聞けば
きっと誰でも知っているはず。

取組前のユニークな気合い入れときこちない仕草で
大人気を博した元小結・高見盛の「引退断髪式」を見に、
東京両国国技館に行ってきました。



10月6日、朝11時、両国。

国技館前は長蛇の列。

高見盛の人気ぶりが見て
取れます。敷地内に入って
すぐ、高見盛の地元である

青森県北津軽郡板柳町の
特産品、りんごとリンゴジュースを配って
いました！みなさん総出でみがいしてくれ
たんでしょうか？ぴかぴかに光ったりんごは
のちに弁当が売り切れた館内で我々の唯一
の食料になりました…マジありがたや。

正面エントランスの看板のところに高見盛
が出てきている！愚民ども(自分含む)に群
がられているが、さすがおすもうさんだけ
あって頭一つ分飛び出ています。気軽にサ
インに応じたり、かわいい笑顔を作ってく
れたり。ああ、もうすぐ見納めなんだなあ。
エントランス内には同門の力士たちが居並
び、ここでも握手やサインに応じていまし
た(これは人が多すぎて見に行けず。くやし
いよお～！)。



テレビと同様～！！



ん?! まだ11時20分なのにイベントがはじまりました。開始時間は11時半のはず…これが噂にきく「相撲時間」というやつか。本場所では見られない、初っ切り(相撲における禁じ手をコミカルに実演してくれるコントみたいなもの)、相撲甚句(いい声の若力士たちが代わる代わるマイクを持って歌う)。相撲甚句は個人的には「ハウルの動く城」で荒地地の魔女が術にはまって人の影に囲まれるやつを彷彿とさせましたね。

イケメンという言葉では物足りない眉目秀丽、伊達男の関取・隠岐の海(おきのうみ)と床山(力士のちょんまげを結ってくれる専門の美容師のような人)による髪結い実演。お相撲さんは耳の上に毛が張り出したような例の特徴的な髪型は普段はしておらず、取組前に結い直します。髪の毛に「びんつけ油」という甘い匂いのする整髪料をつけて、紙をこよって作ったひもで髪の毛を縛ります。



5分くらいで
美しい大いちょうの
できあがり!



東の花道からまわしをつけた高見盛が登場! 豆力士たちを相手に最後の稽古をします。小さい順に高見盛に挑んでいく豆力士たち。この中に将来の関取がいるのかな? 子どもに花を持たせて負けてあげる姿などは、本場所では見られない姿です。

最後は豆力士全員で高見盛にとびかかる! 埋もれる高見盛! まるで上島竜兵をとりかこむ芸人たちのようですね。

最後の気合い入れ!



断髪式ですが取組もあります。ただしこの取組は見世物的要素が強いというか、勝敗が番付に反映されないので、なんとなくみんな手を抜いているような？ふわっとした立合いが多く、土俵際でも粘らない。この前の週に千秋楽イブを国技館に見に来ていた我々にとってはすこし消化不良な取組内容でした。



花相撲
というやつなの
でしょうか？



十両の取組が終わるといよいよ断髪式。土俵の上に赤いじゅうたんがひかれ、真ん中にイスが置かれて行司がはさみをもってきます。このはさみが異様にデカイ(遠くからも見えるようになるのか?)。380人もの人が高見盛の頭にはさみを入れるため、おそらく一人あたりの断髪量はたいした量ではないだろうに、明らかにプルプルした老人とかがこの異様にでかいはさみを高見盛の頭へ… 別の意味でハラハラです。

永谷園の社長をはじめ、デーモン閣下、やくみつる、中尾彬など有名人も次々とチョッキン。どうでもいいけど永谷園の社長は永谷さんというんですね、永谷園は永谷の園(その)っという意味だったんだな～。

高見盛の師匠、先代の東関(あずまぜき)親方がちょんまげに止めばさみを入れます。切り取ったちょんまげを「とったどー!!」って感じで見せつけます。最後は高見盛による渾身のご挨拶で断髪式は終了。高見盛のコメント「第二第三の高見盛」は量産型ってこと?(ロボだけに)と思わせましたね。





あの力士が目の前に!

断髪式のあいだ、裏では続々と幕内力士たちが場所入りしてきます。普段は警備員が立つ道路ですが、今日はだれも立っていません。それに普段より入り待ちの人も少ないみたい。みなさん写真や握手、サインをお願いしたりしています。力士たちも快く応じてくれました。とはいえ当然ファンとして人として、失礼な振る舞いはしたくないものですね。

断髪式は終了しましたが引き続き幕内の取組があります。こちらもやはりなんとなく気迫が足りない感じがします。制限時間が普段より短いせいでしょうか？それでもお気に入りの力士の取組が生で見られるので嬉しいのですけどね。このころ裏方では高見盛がヘアカット中。ソフトモヒカンになって親方として第二の相撲人生を歩んでいくわけですね。



これにて本日はすべて終了！このあと国技館の地下で関係者のみでパーティが行われたようです。我々はもちろんお呼ばれしていないので、夜の両国に消えていきました。



今まで
お疲れさまでした!

※落語家ではない

いざ九州場所!

地方場所ってなに?

力士との距離ゼロメートル!? MajiでKoiする土俵前

両国国技館では力士の花道と一般人用通路は完全に分かれています。ところが地方場所では県立の体育館などで取組を行うため、力士と一般人の通路は同じ!だから取組が終わった力士が自分の目の前をフウフウ言いながら歩いて行くとか、遅刻しそうになって食パンくわえて角を曲がったとたん向こうから来た力士とぶつかって精神が入れ替わるなんてこともありうるわけです。

またご当地出身力士には普段よりも熱い声援がとんだり、必ず毎日テレビに映るお客さんがいたりなど、国技館では味わえないご当地感も味わえるのです。国技館ではめったに手に入らない溜席のチケットが手に入っちゃう、なんてことも…!

この地方場所による経済効果は実に200億とも言われており、地域の活性化にもなっているようです(おそらく力士が地元のおいしいものをたくさん食べるなど)。

3月-大阪(春場所)

大阪府立体育会館で開催されている。体調管理がしづらい季節のせい「荒れる春場所」と呼ばれ、番付上位が負けるいわゆる波乱の結果が多いとされる。収容人数が他の会場に比べ狭い。もともと大阪には大坂相撲の歴史があって相撲人気の根強い土地であり、毎年大いに盛り上がる場所である。土俵まわり(砂かぶりという)に大量に茶色いちゃんちゃんこを着ている観客ども(東西会という親睦団体の会員ども)がいるのが特徴。

名物客:神田川俊郎

なんで阿覧やめてしまおうん…?

え!? てかもう帰ってしまったん!?

阿覧引退!



化粧回しの虎の肉球がキュートだったロシア野郎、阿覧が引退…
欧州勢の相次ぐ引退、角界は一体どうなるのか。高見盛断髪式の日
の険しい表情の彼が忘れられない…阿覧の今後に幸あらんことを。

7月-名古屋

愛知県体育館で開催されている。日本有数の猛暑地帯での開催のため「熱帯場所」「南国場所」とも呼ばれる。体調管理がしづらい季節のせい「荒れる名古屋場所」と呼ばれ、番付上位が負けるいわゆる波乱の結果が多いとされる。(大阪場所からのコピペミスではない。Wikipediaにこう書いてあったのだ)生涯ただ一度の優勝をこの場所で果たした力士も多い。ちなみに夏場所とは5月場所のことで、7月は普通に名古屋場所という。
名物客:白鷺の姉御(通名)、大村崑

11月-九州

福岡国際センターで開催されている。地方で行われる本場所の中で最も地元出身力士への声援が大きい。「荒れる九州場所」とは別に呼ばれていない。枱席からの座布団投げ防止のため座布団が横長の2人用になっており、1人でも座布団に座っていれば投げられないという仕組みになっている。さらに座布団の中にはマイクロチップが埋め込まれ誰が投げたか容易にわかるので、投げた輩のところへはあとで親方がお礼参りに行く…とかだったらおもしろいのかな。

名物客:西通路の美人ママ

地方場所では力士たちは部屋ごとに毎年同じ場所に宿泊し(お寺や工場、幼稚園の敷地内など)朝稽古を公開していたり、稽古のあとにファンと触れあうこともあるようです。もしもあなたのおうちのそばで力士たちが宿泊していたら、ぜひ一度見に行ってみよう!(マナーとルールは守ってね)



阿寛 啓虎

あらん はくとら

本名:アラン・ガバライエフ

生年月日:1984年1月31日

出身地:ロシア

最高位:東関脇

所属部屋の消滅が精神的にきたらしく、9月場所後に引退。異例のスピード断髪でロシアへ帰り、今後はホテル経営などするそうだ。阿寛ドロン。

恐怖実録まんが

カ士とスリーショット



断髪式の日には警備員がいないのでカ士ともふれあい放題です。

サたらファンサービスのいい大砂嵐



「これは我々もぜひともどなたかと一緒に写真を撮っていただかねば……！」



「ということで勇気を振り絞って松鳳山閣にお声かけして写真を撮りました。撮って頂きました。」

あんなの……！



恐……

私……もうダメです……

フラフラ 布団あったら……

生カ士の殺気オーラ半端なかったです！



またいる大砂嵐